



PIECES

ANNUAL REPORT

2020-2021





## 優しい間のある暮らし

閉じていたまぶたがピクツと動いて  
薄目を開けたまぶたの中に黒目が見える

口の端がかすかに下がる  
目尻がキュッと伸ばされる

顔があつという間に赤くなって  
「ふえ、ふえ」  
と声が聞こえる

手を伸ばして抱き上げた私の腕の中で  
顔の動きが止まり  
まぶたが開いて黒目が大きく現れる

「絵を描いたの」

口を大きく開けて、目を細めながら  
一枚の紙が差し出される

紙よりも下にある顔を見ると

目を大きく開けてこちらを見つめている  
笑っていた口元がすぼまって、  
少し詰まった鼻から漏れる呼吸の音が響く

「ありがとう。嬉しいなあ」

わたしの言葉に、口の端がゆっくり上がって、目尻が下がる

「さいきんどう？」

定期的に送られる優しいメッセージ  
「色々ありすぎて」

その一言のあと、緩やかに、けれど確実に差し伸べられる手

「スープ送ったよ」

「支える制度調べただけだね」

「今週末どこか行こう」

あなたのその手がわたしの心をほぐす  
ほぐされた私の心に

泉が溢れ

わたしの泉は

目の前の小さな小さな命に流れ込む

あなたが悲しむ顔も、微笑む顔も、  
あなたの存在そのものが  
私を生かす

たくさんの方が私を生かし

手から手にわたる心が

小さな生命を生かす

小澤いぶき  
(PIECES代表理事)

私のちょっとした社会への働きかけが、一体何に影響しているのか、私たちの目に見えにくいことがあります。  
むしろ、影響がないと思うことの方が多いのかもしれない。例えば選挙に行ったけれど、自分の選んだ政治家が選挙に落ちてしまった時、例えば誰かに勇気を出して席を譲ろうとしたら断られた時。

けれど、実際はその人が気づいていない、ちょっとした言動や、その人が存在しているということ自体が、誰かの暮らしに影響していて、それがさらにその先の誰かの生活に届いています。

今すぐには見えないかもしれないけれど、一人ひとりの市民性の先に誰かの暮らしがあるように、泉のように湧いた小さな豊かさの種が、芽吹いているかもしれません。  
一人ひとりの手元にある温かい間が、社会の源になっていく、そんな「優しい間」のある暮らしを。

### 目次

|    |                       |    |                                |
|----|-----------------------|----|--------------------------------|
| 02 | 代表ポエム                 | 12 | 【Cultivate Citizenship】広報・啓発事業 |
| 04 | 取り組む課題と目指す未来          | 14 | 5年間の歩み                         |
| 06 | 【CforC】市民性醸成プログラム     | 15 | お知らせ                           |
| 08 | 【CforC】市民性の広がりに参加者の声  | 16 | 活動決算書                          |
| 10 | 【CforC】プログラムの展開       | 17 | サポートいただいた企業                    |
| 11 | 【ReframeLab】アートプロジェクト | 18 | 5周年メッセージ                       |



# MISSION

一人ひとりのマインドセットをアップデートし

## 社会のなかに 市民性を醸成する

### 新しい時代のマインドセット(市民性)の3ステップ

#### みつめる

自分自身の感情、目の前にいる相手の言葉や表情、自分が暮らす地域の営み、事件や紛争、気候や自然環境の変化—私たちが生きる社会に起こるさまざまな事象を、ありのままにみつめようとする。その事象がどのように起こっているのか、それぞれがどう関わり合っているのか、みつめることで、世界のつながりが浮かび上がります。

#### うけとる

ありのままをみつめ、私たちがつながりや相互作用の中に生きていることを思い出します。そうすることで、同じ事象から、それまでは気づかずだったメッセージをうけとることができるようになります。目の前にいる子どもがふとしたときに見せる表情や行動から、新しい意味が生まれてきます。

#### はたらきかける

新しいメッセージをうけとった一人ひとりが、つながりを意識しながら世界にはたらきかけます。身近な人たちとのコミュニケーション、地域コミュニティでの活動、職業生活、政治参加、さまざまなレイヤーで新しい循環が生まれていきます。

私たちの目指す未来は、子どもたちが孤立せず、優しいつながりが溢れる未来です。それは、小さな困りごとや、小さな心の傷が生まれた時に、身近な関係性のなかでケアされ、お互いに癒やし合っている世界です。

そこで生きる私たち市民は、自己責任論ではなく、痛みや困りごとが生じたとしても、お互いに癒し合い、頼り合っているはず。そのためには、「私／あなた」として明確な線引をして「あなたの責任」といった責任の押し付け合いをせず、むしろ私とあなたもつながっていて、困りごとを一緒に解決していこうとする「わたしたち」の感覚をもっているマインドセットにアップデートする必要があります。

私たちは、そのような新しい時代のマインドセットを三つのステップにまとめました(上図)。私たちPECEsは、Citizenship for Childrenなどの事業を通じて、一人ひとりのマインドセットをアップデートし、社会のなかに子どもたちの困りごとや痛みを見逃さない市民性が醸成されていくことに取り組んでいます。専門家だけではなく、私たち一人ひとりが優しい間をつむぐ市民性を発揮していくことで、子どもの心の傷が身近な関係性のなかでケアされ、子どもの孤立は解消されていくと考えているからです。

これからも、私たちPECEsは、子どもたちが孤立せず、優しいつながりが溢れる未来の実現のため、社会に生きる私たち一人ひとりの変容を後押しし、みなさんと一緒に歩むNPOとして取り組んでまいります。

# ISSUE

頼れない・頼る人がいない

## 子どもの孤立

どこにも  
相談できる人が  
いない

21.8%<sup>※1</sup>

どこにも  
居場所がない

5.4%<sup>※1</sup>

どこにも  
助けてくれる人が  
いない

11.3%<sup>※1</sup>

支援機関を  
利用しようと思わない

69.7%<sup>※2</sup>



※1:内閣府「子供・若者白書」令和3年度

※2:内閣府「子供・若者の意識に関する調査」令和元年度

貧困や家族の病気、いじめなどで、しんどいときや傷ついたときに、家庭・学校・地域などで誰にも頼れない、頼る人がいない「子どもの孤立」。それにより、心の傷が悪化するまでケアされず、深刻な状態へとつながる子どもたちがいます。

行政機関や専門機関は逼迫しており、必要な時にケアが届かず、手遅れになってしまうことがあります。申請主義(自ら支援を要請する必要がある)や、選別主義(支援要件にはまらないと支援をうけられない)など、子どもにケアが届くまでの構造的なハードルもあります。

また、子どもが孤立する社会背景には、私たち一人ひとりがつくる地域や社会風土も影響しています。たとえば、家庭の問題は自力で解決すべき、教育のことは学校で行うべきといった価値観。それは、自分がよければそれでよいという考えとも表裏一体であり、「他者の苦しみを助ける必要はない、それはその人の責任」と考え、助け合うことや頼り合うことを遠ざける結果にもつながります。

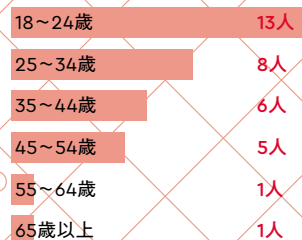
こうした背景が絡み合い、子どもの孤立が深刻化することで、結果的に子どもたちの健康への影響があることがわかっています。それはひいては、社会の安全やwell-beingにも影響します。子どもの孤立は、私たち一人ひとりにとって重要な問題の一つなのです。

住んでいる地域の枠を越えて、仲間と学び合う

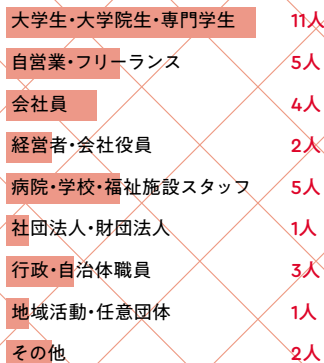
参加者層(2020年度)

参加者数 34人

[年齢]



[職業]



日本各地に住む参加者が、それぞれの地域で自分にとっても相手にとっても“優しい間”をつくるための市民性を探求してきました。参加者からは「遠隔地の方々とながれるのはオンラインの醍醐味だと思った」「CforCで生まれたつながりを、今後の地域活動にどう生かせるか考えたい」といった声が聞かれました。



協働団体



## NPO法人セカンドリーグ茨城

地域の資源をつなげることで「協働型社会」の実現を目指すNPO法人セカンドリーグ茨城さんと共同で、茨城エリア参加者向けにCforCを展開。2020年は、水戸の市民センターをお借りして対面とオンラインを組み合わせたハイブリッド型のゼミも開催し、参加者同士で地域のつながりを深めました。

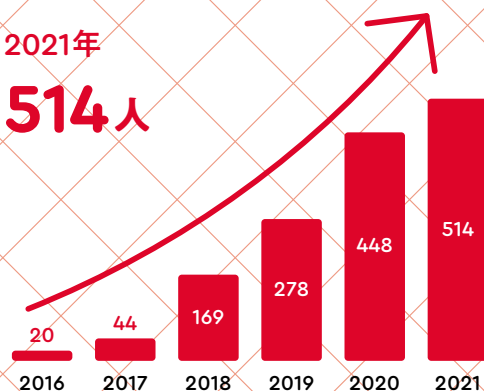
## 認定NPO法人Living in Peace

「機会の平等を通じた貧困削減」を目指す認定NPO法人Living in Peace (LIP) と共に、関西エリア参加者向けにCforCを展開。2020年はLIPが運営する子ども食堂「りっぷキッチン永和町」のお手伝いをしながら子どもと触れ合う現場実践を行いました。

プログラムの広がり

2021年

514人



プログラム累計参加人数

PIECESメイトの広がりや皆さんの継続的な支えによって、今期もCforCには多くの方に参加いただき、子どもの周りに温かなまなざしやアクションを通して“優しい間”が生まれています。新型コロナウイルスの感染拡大で顕在化したように、孤立してしまってから支えを届けるのは簡単ではありません。一朝一夕では地域における「気づきの目」や「安心できるつながり先」は生まれにくいからこそ、これからも継続的なご寄付を通して、子どもにとっても私たちにとってもwell-beingな社会づくりに参画いただければと思います。

\*本事業は、「2021年度 日本郵便年賀寄付金助成」を受けて実施しています。

子どもが孤立しない地域をつくる  
市民性醸成プログラム

# Citizenship for Children



Citizenship for Childrenとは？

Citizenship for Children (CforC) は、子どもと自分にとってのよりよいアクションやあり方を探求する「市民性」の醸成を目指す研修プログラムです。子どもと自分と地域にとってのwell-beingを実現するために、仲間とともに心地よく迷いながら、自分なりの市民性を探究していきます。2016年から実施しているCforCは、2019年度からは全国へ展開し、各地の協働団体とともに活動を広げています。2020年度は、3つのコースに計136名が参加しました。2021年度は「みつめるコース」「うけとるコース」「はたらきかけるコース」とコース名を刷新し、65名が受講しています（～2022年1月まで）。また、CforCのエッセンスを活用して団体向けの研修プログラムも実施しています（P9参照）。

1

基礎コース



みつめるコース

講座 + ゼミ

子どもに心で応える  
まなざしを学ぶ

実践家や専門家による講座と、50名を超える同じ志をもった仲間とグループワークを行うゼミを通じて、自分や子どもの感情、地域や社会の出来事を「みつめる」ためのまなざしやマインドセットを探究します。市民性醸成のベースとなるエッセンスを学びます。

2

探究コース



うけとるコース

リフレクション

発見と葛藤を繰り返し、私らしい「優しい間」を問う

本コースでは、CforC独自の方法によるリフレクションを通じて、自分と相手にとってよりよい関わりかたを探ります。全4回のセッションを通じて、目の前の子どもの感情や願いに目を向けると同時に、それをうけとる自分自身の感情や願い、価値観にもじっくり向き合います。

3

プロジェクトコース



はたらきかけるコース

講座 + ゼミ + リフレクション

自分の中にある想いを  
仲間とカタチにする

子どもたちの周りに「優しい間」が溢れる地域をつくるため、自分なりに「はたらきかける」ことを目指すコースです。このコースでは、みつめる・うけとるコースの内容に加え、講座やゼミを通じて、地域視点で学びを深めながら、自分なりの市民性が発揮されるアクションやプロジェクトを企画・実施していきます。



公園で子どもに対して怒鳴り散らしている人がいて、これまでだったら気になりつつ見て見ぬふりをしていたけど、勇気をもって声をかけてみる事ができた (30代、社会人)

地域で生活していて、これまでだったら「迷惑だな」「困った子だな」と感じていたような場面でも、目に見える行動や言動だけでなく、その子の背景を想像して自分にできることは何かを考えるようになった (50代、社会人)

これまで一步踏み出すことにためらって何もできずにいたが、今では毎週のようにボランティアとして子どもに関わっている。そばにいらしくできないけど、無力でもないかなと感じている (20代、社会人)

子どものことが大好きで、子どもに関わり続けたい。そのためには専門的な知識を身につけなければ始められないと思い込んでいた。でも講座やゼミを重ねる中で、大切なのはそこじゃないとわかった。自分がもうすでに持っているものがある。周りにもこれだけ想いを同じにしている人がいる。それを大事にとにかく動き始めたい (40代、自営業)

## 参加者の声

### 参加してみてどうでしたか？

CforCのプログラムを受けたことで生じた変化や、それによって生まれている“間”について、参加者の声をお届けします。

支援者としての自分だけでなく、一市民の人としての自分があることが分かった。でも、その分、一つのことを単純にとらえることができなくなって悩むことも増えている。でも悩んだときに、立場を越えて話せる仲間ができたことで、悩むことを大事に子どもとの関わりを続けていきたい (20代、学生)

これまで、葛藤が生まれることは悪いことで、自分が未熟な証拠だと思っていた。でも葛藤は手放さなくていいんだ。葛藤やもやもやをそのまま出せたこの場で、そのことに初めて気づけた (20代、学生)

自分にも他者にも、一步立ち止まり、客観的に見る視点が備わった気がする。自分の考えに偏りがあることも、他の方の豊かな視点を知ることで分かったし、私も他の方の視点に気づけたことで視野が広がったのが純粋に嬉しい (30代、自営業)



## 市民性の広がり・修了生の現場紹介



1



### アンドラフ + laugh

東京都多摩エリア

重症児(者)施設内に駄菓子屋と地域の方が自由に利用できる場を併設。地域の人が「自分のため」と感じる場をつくる。

2



### 正安寺ふらっと

茨城県水戸エリア

学校に行かない選択をしている子・学校になじめない子が、ふらっと気軽に寄れる居場所をお寺で開く。同お寺で、てらこやという取り組みも実施。

3



### まちのこ団

茨城県県央～県北エリア

地域の小中高校生を対象に、子どもの「やりたい」を叶えるワークセッションやプレイバス(移動式あそび場)の実施。常設の場も2021年にオープン。



7

8

6

1

2

3

4

CforC修了生の方々によって、日本各地に「優しい間」が生まれています。みなさん、自分のできることを少しずつ広げ、強みを活かしながら、子どもたちとともに活動を続けられています。

4



### こころコンビニ

茨城県鉾田エリア

茨城県鉾田エリアにて、コンビニの一角にボードゲームや本などを置き、居場所を設置。子どもや地域の人がゆるく繋がり、しんどい時に本音を出せる場所をつくる。

5



### こばん

東京都世田谷エリア

気軽に声をかけあう地域の人(こばん)を増やすプロジェクト。夜19時までの居場所の提供や多目的に大人も場に来る仕組みをつくる。

7



### tori

福岡県大野城エリア

子どもたちの溜まり場としてだけでなく、地域の人が交流できるスペースとして、雑貨を扱うショップやコーヒースタンド小屋を設置。

8



### だがしやふいーか

高知県朝倉エリア

週2で民家の一角に駄菓子屋をオープンさせる。駄菓子を買う子どもやその場に居座る子どもなど、小学生が放課後に集まる。



# REFRAME LAB

リフレーム・ラボ

## 子どもの生きている世界をとらえなおす共同プロジェクト

### CONCEPT

「わたしたち」の世界に  
存在している様々なものへの  
想像力を育み、  
共に在る世界を耕す。

### MEMBER

一般社団法人Whole Universeとの共催のもと、2018年から活動が続けている「Reframe Lab」は、豊かな想像力を育む「あそび」や「まなび」を開発し、アート、教育、医療、福祉がつながるプラットフォームを構築していくプロジェクトです。子どもたちの生きる社会に遊びや想像力が失われることなく、見えづらい痛みや可能性、声や存在を受け取っていく、そんな想像力を再構築していくことを目的に活動が続けてきました。見方次第で変容していく、今日に映る世界を、あらゆる角度からリフレームすることで、さまざまな生命とともに在ることの想像力を育んでいくプロジェクトです。

塚田有那 清水聡美 和田夏実  
富樫多紀 岡本真梨子 古屋遥  
小澤いぶき

### 今年度の取り組み

子どもたちの知覚する世界を受け取り、「ミエナイモノと世界をあそぶ」をテーマに絵本と映像を制作しました。これまで「自分」だと思っていたものが、あるとき水に、鳥や風に、土中の菌から宇宙にまで変容していくメタモルフォーゼの物語。危機とも共にあるこの世界の中で、社会やこの世界にあるレジリエンスを見つめ、変容の物語の最後、自分の中の安全な感覚に戻ってこれるような絵本です。

#### ミエナイモノとあそぶプロジェクト

ー『もるめたも』 あそびとまなびの観察ノート

原作：Reframe Lab

アニメーション：ひらのりょう

音楽：OLAibi

ナレーション：コムアイ

<https://reframe-lab.com/project/60>



絵本と映像はこちら



#### 「もるめたも展 - あそびとへんしんの研究所」

展覧会 + トークイベント

会期：2021年7月22日(木) - 8月9日(月)

会場：ケーススタディスタジオBaBaBa



# KATSUSHIKA

### with 葛飾区

2020.9～2021.2

葛飾区で活動する3つの子ども支援ネットワーク、「かつしか子育てネットワーク」「かつしか子ども・若者応援ネットワーク」「かつしか子ども食堂・居場所づくりネットワーク」に所属する団体の方々向けに約6か月間のプログラムを実施（参加者：26名）。通常のCforCプログラムに加えて「トラウマインフォームド・ケア」のエッセンスも追加し、子どものこころのケガからの回復・予防をより日常的な生活の中で支えられるようにすること、またそのための環境づくりについて学びを深めていきました。

※本プログラムの実施にあたっては、ゴールドマン・サックス様からの寄附によるサポートをいただきました。

### with NPO法人SOMA

2020.10～2021.1

NPO法人SOMAの提供するプログラム「幼小中統合型 個別最適・自立学習環境 i.Dare（イデア）」にお子さんが参加している保護者の方とSOMAスタッフ向けに、CforCのエッセンスを凝縮したプログラムを実施しました。また、



iDareプログラムに参加する子どものメンタルケアを行うオンライン保健室「あのねの部屋」も設置し、子どもたちと子どもの周りにいる方々と優しい間について探求しました。

NPO法人SOMAとは  
<https://www.nposoma.org/>  
ひとりひとりの「わたし」が育つ環境をととのえることをミッションに掲げるSOMAが提供するi.Dareは、年齢縦断型の環境で共有体験を通して、子どもたちの自尊感情、自己決定を促すプログラムです。

CforCはあなたの地域や組織でも実施できます！

## The NETWORK of CforC

地域には、子ども食堂や学習支援をはじめとして、様々な形で子ども・若者にとっての居場所づくりや環境づくりに取り組む団体・ネットワークが存在します。PIECESでは、個人単位で参加するCforC以外にも、団体や地域向けにCforCをカスタマイズして届けることを通して、地域における市民性の開発や子どもに関わる人のエンパワメントに取り組んでいます。

### with project HOME

2021.7～

NPO法人ピッコラーレとの協働で取り組む「project HOME」に関わるスタッフ向けに、CforCプログラムを活用した対話と学びの会を隔月で開催しています。特に、助産師や保健師、社会福祉士といった専門職が多く集まるという特徴を踏まえ、「市民性と専門性の越境」をテーマにした対話などを重ねています。今後は、地域住民などの多様な関係者を巻き込んだ対話やWSの機会も設けていくことで、「地域に開かれたHOME」づくりを推進していきたいと考えています。



### 一般社団法人We are Buddies

We are Buddies プロジェクトは、子どもと大人がバディとなり、オンライン・オフラインで遊んだり、話したりしながら、細く長い関係性を築きます。子どもと関わるバディの方向けに、講座、ワークショップ、リフレクションを実施しました。

<https://wearebuddies.net/>

### NPO法人 love Fútbol JAPAN

サッカーをしたくても諦めている日本の子どもたちにサッカーの機会を届けているlove Fútbol JAPANさんの実施する「子どもサッカー応援事業」にメンターとして参加するプロのサッカー選手の方々に、講座を実施しました。

<https://www.lovefutbol-japan.org/>



## #問いを贈ろう

2021.08.15 - 2021.09.21

## 31個の問いを通じて 自分・社会・未来を見つめる1ヶ月

問いを贈ろうでは、SNSなどを通じて、著名人の方やPIECESから毎日1つずつ自分と社会のwell-beingを考える「問い」を発信。

31個の「問い」は、CforCで長年培ってきた問いかけのエッセンスを凝縮させたもの。週ごとにテーマを設けて、現在から未来へ、自分から社会へと、少しずつ視野が広がる問いを贈りました。「問い続ける姿勢こそ、社会を変える一歩になる。」そんなメッセージを込めました。

Day1

誰かのさりげないひとことには  
はっとしたことはありますか。



Day5

今日も頑張っている自分自身に、  
どんな言葉をかけてあげたいですか



Day9

あなたの人生の主人公は誰ですか。



Day17

「ふつう」って、  
何でしょうか。  
「みんな」って、  
誰なのでしょうか。



全ての問いは  
こちらから  
ご覧になれます

## ゲストの皆さまからも問いを贈っていただきました

小島慶子さん(エッセイスト、タレント)

ホープマンズ 森川やるしかねえさん(お笑い芸人)

末次由紀さん(漫画家 代表作『ちはやふる』)

富樫敬真さん(サッカー選手(ベガルタ仙台))

長谷川愛さん(アーティスト)

ドミニク・チェンさん(早稲田大学文化構想学部准教授)

福田萌さん(タレント)

安瀨聖司さん(アクサ生命保険株式会社代表取締役社長兼CEO)

## HIPAHIPA

CforC修了生の子どもと関わる  
居場所を紹介&現場に足を運ぶ

「優しい間(ま)」について考えるイベントHIPAHIPA。CforC修了生の行う、子どもたちの居場所づくりの場に足を運んで「優しい間」を体験してみたり、オンラインワークショップやWEBラジオで、自身の関わりやまちの中の出来事について優しい間のメガネで見つめてみます。今年度ライブ配信と現場訪問を合わせて8回実施しました。\*修了生の現場は8ページをご覧ください。



## Cultivate Citizenship

広報・啓発事業

子どもを取り巻く社会をつくる一員である私たちが大切にしたい視点や、心のケア、子どもと関わる際に大事なことなどに関する情報をPIECESでは啓発活動の一環として発信しています。PIECESの発信するアウトプットに触れたあなたの手元から、優しい間が紡がれていくように。「耕す」という意味のCultivateを使い、PIECESの啓発・広報の取り組みを「Cultivate Citizenship」と名づけました。

2020-2021開催イベント

開催回数

32回

参加者

1000人

## 虐待防止月間

2020.11

虐待を足元から予防するために  
イベント・キャンペーン・記事で啓発

11月は厚生労働省が定めた児童虐待予防の啓発を行う「児童虐待防止推進月間」。虐待のニュースをみても胸がぎゅっと苦しくなって、誰かを責めなくなったり、何もできない無力感を感じたりすることがあるかもしれません。社会で起きている問題は確実に私たちの足元で繋がっているけれど、自分がそれに関与していると実感することは難しい。PIECESでは、虐待の問題について知り、考え、自分ができる行動に移すことを目指して、キャンペーン、イベント、記事公開を行うことで虐待防止月間の普及推進を行いました。タレントの福田萌さんをお招きし、イベントを開催。キャンペーンでは新たに66名の方にPIECESメイトになっていただきました。



## ARTICLE 01 センセーショナルな虐待のニュース、どう受け止める?



- POINT**
- ① 困りごとの解決・虐待の予防につながる情報をシェアする
  - ② 虐待が公衆衛生の問題だということを伝える
  - ③ ニュースに触れた時の感情を大切にする  
それは予防につながる

一人の子どもが虐待を受けることは、その家庭だけでなく社会の問題です。子どもに起きていることが社会を映す鏡だとしたら、その出来事は遠くの誰かのことでなく、私たち自身のことでもあります。

## ARTICLE 02 大人も自分で気づきづらい、からだやこころの変化。子どもたちの変化に気づくには?



## からだのサイン

- ごはんを食べたくない
- 頭がいたい
- おなかがいたい
- いつもよりイヤな夢をみる… など

## こころのサイン

- 外にでるのが不安になる
- なんだかイライラする
- 自分が今どんな気持ちかわからなくなる
- だれかをたよる、相談することがむずかしくなる
- スキなことをやる気も起きない
- いつもよりだれかにあまえたくなる
- 人のことがこわい… など

子どもたちの「いつもと違う何か」のサインを知っていることで、起きていることだけに目を向けず、その背景にある「困りごと」や「環境の変化」に目を向けることができるかもしれません。

# Donate to PIECES

さまざまな形でご寄付を受付けています。

PIECESへ直接寄付をする

## PIECESメイト（毎月の継続寄付）

仲間という意味を込めた「PIECESメイト（ピースーズメイト）」。

## 個人・企業・団体寄付（単発寄付）

イベントの寄付付きチケット購入や単発決済（クレジット・銀行振込）で任意の額をご寄付いただけます。

## Yahoo！募金



Yahoo!ネット募金は、クレジットカードで100円からまたはTポイントで、1ポイントからの寄付が可能です。

## 本の寄付

（古本チャリティ基金）



本棚に眠っている本が、子どもたちを支援する活動費になります。あなたの読み終えた本、読み終わったDVD、CDなどをご寄付いただけます。

## actcoin



PIECESは 社会貢献を可視化するactcoin（アクトコイン）の公式イベントパートナーです。活動支援金プログラムにより、登録イベントへお1人の参加で100円が寄付されます。actcoinの機能で毎月のご寄付登録も可能です。

## 遺贈

「遺贈」とは、遺言によって、ご自身の財産を無償で特定の個人や団体に譲渡することです。遺言書において遺贈先にPIECESをご指定頂くことで、ご寄付を子どもと関わる大人の市民性を醸成する活動に使わせて頂くことができます。※頂いたご寄付には、相続税が課税されません。※レディーフォー遺贈寄付サポート窓口 <https://izo.readyfor.jp/>

## オンラインスペース

## 「Piece for Peace」がスタート！

PIECESメイトのみなさんと「日常のもやもや・迷い」をお互いに受け止めあいながら、社会も自分もwell-beingになることを目指した、Slackを使ったオンラインスペース「Piece for Peace」をはじめました。

PforPの概要はホームページをご覧ください。

<https://www.pieces.tokyo/pforp>

◎寄付者の方へ、オンラインスペース（Slack）の参加方法をメールにてご案内しておりますのでご確認ください。



# Seminar / Workshop

ご依頼・ご相談はこちらまで <https://www.pieces.tokyo/forms>

## 講演



代表の小澤いぶきによる、児童精神科医として臨床に携わる専門家としての観点と、PIECESを立ち上げ、事業を進める中で得られた経験からお話させていただきます。事業をともに進める、社会福祉士、ワークショップ開発に専門性を有するメンバーの講演も承ります。目的やテーマに合わせてアレンジしますので、ご相談ください。

|          |               |                                                                                   |
|----------|---------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 2020年度実績 | 2020.12.19-27 | 一般社団法人子どもの声からはじめよう 第1期子どもアドボケイト養成講座（小澤）                                           |
|          | 2021.06.12    | KYOTO SCOPE 第9回オンライン・ケース勉強会（小澤）                                                   |
|          | 2021.06.18    | Think and Talk with Peatix 日々の暮らしにある「子どもの孤立」に目を向ける・NPO法人PIECESが考える、優しい「間」とは（斎・藤田） |
|          | 2021.07.20    | 東京都健康長寿医療センター研究所「第3回 子どもと高齢者のスポーツや遊びによる世代間交流促進事業検討委員会」講師（小澤）                      |
|          | 2021.10.14    | 埼玉県吉川市主催 令和3年度第2回 子ども未来応援集会（斎）                                                    |

## 研修・ワークショップ

PIECESが展開する「市民性醸成プログラム」は、児童精神科医や社会福祉士、ワークショップ開発に専門性を有するメンバーにより独自に開発しています。その研修ワークショップをベースに、企業や自治体、他のNPO団体向けに子ども支援に関する知識・技術などの研修や大学などの専門機関向けの講義など、オーダーメイドのプログラムを提供します。

# Follow Us!

各種SNSで活動情報をお知らせしています

Twitter @PIECES\_Tokyo

Facebook [Pieces / ピースーズ]

Instagram @pieces\_npo

note PIECES Magazine

NEW!

LINE



PIECESのあゆみ

# 5TH ANNIVERSARY



## 2014

PIECESの前身団体となる「DIC」を小澤が立ち上げ、活動開始

from いぶき

Diversity & Inclusion & Childrenの頭文字をとったDIC。今となっては幻のアプリのモックやロゴが完成！と思いきや、子どもたちが地域のさまざまな頼り先につながるアプリ開発途中で、ハードや仕組みだけでなく、安全に頼ったり頼られたりできるソフト＝人の存在の重要性に気づき、アプリ開発を中断し、地域で楽しく頼れる場づくりをはじめました。まだまだ試行錯誤していた時期です。



## 2017

CAMPFIRE

「子どもをひとりぼっちにしないプロジェクト」スタート  
コミュニティユースワーカー育成プログラム（第2期、第3期）

from しょうこ

はじめて、いろんな企業さまとコラボしてイベントを実施しました。そして、シェアオフィスに事務所を借りて、じわじわ組織化。仲間が増えていく実感にワクワクしたことを覚えています。



## 2019

直接支援事業を譲渡し、前副代表の荒井が独立・法人設立  
CYW育成プログラム改め「Citizenship for Children」(CforC)の全国地域展開スタート

from なつこ

関わるメンバーも多様にひろがり、PIECESらしい組織の一步を踏み出しました。私もサラリーマンからNPOヘジョイン！クラウドファンディングやイベント企画で右往左往。



## 2016

NPO法人の設立、コミュニティユースワーカー育成プログラム（現CforC）の開始  
伴走支援や料理、プログラミング、スポーツなどを通じた子ども支援を行う

from さい

新宿のカフェや東京駅構内、他人の民家(?)を転々としながら構想づくりを繰り返す日々…そんなベンチャー感溢れる日々を経て、ただひたすらにでっかいビジョンだけを掲げたPIECESが誕生しました。このときから応援してくれているPIECESメイトの皆さま、ありがとうございます！



## 2018

コミュニティユースワーカー育成プログラム（第4期）  
コモンズ投信「コモンズSEEDCap」の第9回応援先  
認定NPO法人格取得

from みこ

法人設立2年の小さなNPOが「認定NPO法人格」を取得した時には、界隈がざわついた（大袈裟）のを覚えています！底知れないPIECESの力を感じました。



## 2020

理事・監事を刷新し新体制へ（スタッフも10名に！）  
Reframe Labスタート  
project HOMEスタート

from くり

コロナ禍での逆境にも屈せず、CforCがオンラインでスタート！オンラインでのプログラムはPCトラブルもありましたが、プログラム終了後も相談し合う濃いコミュニティになりました！



## たくさんの企業や団体のみなさまと活動をひろげています

法人や団体のみなさまからご寄付や助成金をいただくことで、  
子どもが孤立しない地域をつくる市民性醸成プログラム：CforCを全国にひろげることができました。  
これからも、さまざまな形でパートナーシップを育んでいただける法人さまを募集しております。

アイオイクス株式会社  
Hariqua

Smile Partner

株式会社コンサルティングパートナーズ



株式会社GRANDAIZ



CBグループマネジメント株式会社

Goldman Sachs  
Gives

ゴールドマン・サックス

大和証券グループ本社

未来応援ボンド こども支援団体サステナブル基金



株式会社タスカ

日本郵便株式会社  
「2021年度 日本郵便年賀寄付金助成」

日本ユニシスグループ  
社会貢献クラブ  
「ユニハート」

パナソニック株式会社  
NPO/NGOサポートファンド for SDGs



公益財団法人  
パブリックリソース財団

合同会社春待堂

FOLK  
FLOWERS

株式会社FOLK FLOWERS

YAHOO! 基金  
JAPAN

災害未来基金



株式会社ライズ

合同会社ライフイズ



株式会社ラジン

## CforCをより多くの人へ、子どもたちへ。

これまで、CforCには共感しているし学びたいがなかなか時間がないという  
方や、タイミングが合わないという声も頂いてきました。そこで来年度は、  
CforCのエッセンスを、より手軽に感じていただけるよう、webサイトのリ  
ニューアルやプログラムに参加いただくなくても学ぶことができるコンテンツ  
の制作などを行う予定です。また、CforCのエッセンスを寄付者のみなさまと  
も共有していき、市民性の輪を広げていければと考えています。お楽しみに！

## 2020年度 活動計算書

(2020年11月1日から2021年10月31日まで)

| 科目    |        | 金額          |             |
|-------|--------|-------------|-------------|
|       |        | 前期 (2019年度) | 今期 (2020年度) |
| 経常収益  | 受取会費   | 0           | 0           |
|       | 受取寄附金  | 39,116,610  | 17,890,261  |
|       | 受取助成金等 | 18,066,200  | 9,210,774   |
|       | 事業収益   | 3,537,268   | 9,707,605   |
|       | その他収益  | 86          | 178         |
| 経常収益計 |        | 60,720,164  | 36,808,818  |

|       |        |       |            |            |    |
|-------|--------|-------|------------|------------|----|
| 経常費用  | 1) 事業費 | 人件費   | 9,367,500  | 12,776,971 | 5  |
|       |        | 法定福利費 | 1,054,403  | 1,769,607  |    |
|       |        | 会議費   | 10,495     | 27,781     |    |
|       |        | 賃借料   | 0          | 261,442    |    |
|       |        | 地代家賃  | 1,020,257  | 1,003,317  |    |
|       |        | 旅費交通費 | 500,304    | 296,570    |    |
|       |        | 謝金    | 3,194,811  | 4,477,998  | 6  |
|       |        | 業務委託費 | 5,091,336  | 19,095,234 | 7  |
|       |        | 広告宣伝費 | 0          | 401,580    | 8  |
|       |        | 通信運搬費 | 67,580     | 180,860    |    |
|       |        | 支払手数料 | 133,834    | 360,304    |    |
|       |        | 新聞図書費 | 3,300      | 34,700     |    |
|       |        | 消耗品費  | 65,779     | 338,241    |    |
|       |        | 印刷製本費 | 2,156      | 458,936    | 9  |
|       |        | その他   | 16,388     | 0          |    |
|       |        | 事業費計  | 20,528,143 | 41,483,541 |    |
|       | 2) 管理費 | 人件費   | 1,937,500  | 2,160,000  | 10 |
|       |        | 法定福利費 | 218,925    | 269,938    |    |
|       |        | 業務委託費 | 1,199,000  | 1,994,340  | 11 |
|       |        | その他   | 3,152,613  | 1,909,304  |    |
|       |        | 管理費計  | 6,508,038  | 6,333,582  |    |
| 経常費用計 |        |       | 25,837,181 | 47,817,123 | 12 |

|              |            |             |
|--------------|------------|-------------|
| 当期経常増減額      | 34,882,983 | -11,008,305 |
| 経常外収益        | 0          | 0           |
| 経常外費用        | 0          | 0           |
| 当期経常外増減額     | 0          | 0           |
| 税引前当期正味財産増減額 | 34,882,983 | -11,008,305 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 0          | 0           |
| 前期繰越正味財産額    | 2,480,336  | 37,363,319  |
| 次期繰越正味財産額    | 37,363,319 | 26,355,014  |

① 受取寄附金 前期比では、21,226,349円の減収です。PIECESメイト（継続寄附者）の広がりにより個人寄附額は増加した一方、前期コロナ禍での活動のために企業・法人様から頂いた大口寄附の多くが単年で終了となったため、総額としては減収となりました。

② 受取助成金等 今期は事業活動への助成1本、組織基盤強化への助成2本の、合計3本の助成金をいただきました。またコロナ禍での対応として給付を受けた持続化給付金も含まれています。

③ 事業収益 CforCプログラムの参加者の増加に加えて、今期後半からはCforCプログラムで利用するコンテンツやノウハウをカスタマイズした企業・法人様向けの研修プログラムも少しずつ広がりが始まり、通年では収益が増加しています。

④ 経常収益計 前期比では、23,911,346円の減収です。前期は、期中に生じた新型コロナウイルスの感染拡大に対する緊急的な活動のため、大口寄附や助成金を積極的に調達しましたが、今期はほぼ計画通りの水準となりました。今期もPIECESメイトや継続的な寄附により活動を支えていただいていることを実感する1年となりました。

⑤ 人件費 CforCプログラムの規模拡大や、Reframe Labの本格的な実施のため、前期比では、3,409,471円の増加です。PIECESでは、皆様からのご寄附の多くを事業活動の担い手となる理事・スタッフの人件費として充当しています。

⑥ 謝金 CforCプログラムやReframe Labの活動に携わる医療・福祉分野をはじめとした専門家の広がりに伴い、昨年度よりも増加しています。

⑦ 業務委託費 CforCプログラムの運営に関わるスタッフの一部、Reframe Labの活動に関わってくださっているデザイナーやアーティストの多くは委託契約を結んで業務を担っています。今期は特にReframe Labの活動を本格化に実施したこともあり、前期比では、14,003,898円増加しています。

⑧ 広告宣伝費 今期は、CforCプログラムの参加者募集や、各種キャンペーン認知拡大のためにSNS広告やプレスリリースを積極的に実施したため、それらの費用が計上されています。

⑨ 印刷製本費 Reframe Labで制作した絵本「もるめたも」の印刷に係る費用などが含まれています。

⑩ 人件費 管理運営業務に携わる理事への報酬額です。業務効率を高めるために管理業務は一部外部に委託して実施していますが、組織の成長フェーズに合わせながら内製化する業務と外部委託とのバランスを図っています。

⑪ 業務委託費 経理・総務・労務等の一部は委託契約を結んで業務を担っており、それらの費用が業務委託費として計上されています。

⑫ 経常費用計 事業活動の規模拡大やReframe Labの実施に伴い、人件費や業務委託費といったスタッフや協働パートナーの稼働が増えたことなどにより、前期比では、21,979,942円の増加となりました。

⑬ 当期経常増減額 既存事業の規模拡大やコロナ禍での短期的な活動が増大した一方で、大口寄附等が減少したことにより、単年度では経常費用が経常収益を11,008,305円上回りました。

⑭ 次期繰越正味財産額 今期単年ではおおよそ予算計画通りの収支となり、26,335,014円を来期に繰り越しました。収益面では、事業収益の成長可能性はあるものの、寄附が大きな支えとなっています。組織のミッションを踏まえると、今後も寄附型のNPOとして、寄附者をはじめ関係者の皆さんとともに「少しずつみんなで」アクションを起こし続けていきたいと考えています。来期もより一層多くの人に事業活動を届けられるよう、ガバナンス強化を図りながら組織運営に励んでいきます。





小澤いぶき  
代表理事

子どもの生きる社会が私たち一人一人の想像力と一歩によりwell-beingなものになる、そんな明日に向けてともに市民性を耕してきてくださり、とても心強く、嬉しく、感謝が溢れています。一人一人の手からうまれる市民性が社会の方向性を形作ると信じています。これからもよろしくお願いします。



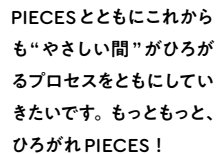
高橋啓太  
まきば

設立時から変わることのない温かい空気が大好き。新メンバーも加わり、温かさややさしだけでなく、凛とした強さも加わった気がします。これからも、地に足つけて一歩ずつ！



瀬戸久美子  
スタッフ

ひとつの正解にこだわらず、変容していく社会とともにあり続けるPIECES。これからも多様な人たちの拠り所でありますように。



青木翔子  
理事

PIECESとともにこれからも“やさしい間”がひろがるプロセスをともにしていきたいです。もっともっと、ひろがれPIECES！



みなさんの優しい間によって、私自身もPIECESも成長できました。これからも変わらず意見交換しながらみなさんと一緒に作っていったら嬉しいです。



荻原国啓  
理事

さまざまな応援とご支援いつもありがとうございます！これからも社会に優しい間が広がって一人一人のウェルビーイングが高まりますように！



佐藤麻衣  
スタッフ(育休中)

PIECESとともにこれからも“やさしい間”がひろがるプロセスをともにしていきたいです。もっともっと、ひろがれPIECES！



くりのさやか  
スタッフ

記事をシェアしていただいたり、CforCを周りに勧めてもらっていたりと、日々皆さんの応援を感じています！これからも一緒に「優しい間」を広げてもらえたら嬉しいです！



中島已歌  
まきば

PIECESには自分の個性や感性を活かし、立場を問わず共感しながらやさしい間を学び合える空気感があり、まさに私の大切にしたい価値観がぎゅっと詰まっています。



中原亮  
まきば



長田和弘  
監事



塚本柚果  
まきば

PIECESの優しい間、それを構成している皆さんと出会い、社会が温かい場だと認識するようになりました。私もその一員で在れることをとても嬉しく思います。



高島慎也  
まきば

推せるNPO法人ランキング堂々第1位(※個人の感想です)のPIECESもついに5周年！連覇目指して引き続き切磋琢磨していきましょう！



斎典道  
理事 / 事務局長

決してわかりやすくもなく、地道な積み重ねでしかない活動ですが、だからこそ皆さんの支えが大きな力になっています。本当にありがとうございます。



藤田奈津子  
スタッフ

もう5年！まだ5年！「子どもが子どもでいられる社会」あたりまえのようで難しい実現にチャレンジする仲間がいることがうれしいです。これからも共に歩んで行きます！



新免由梨  
まきば

5周年おめでとうございます！ひとりひとりが持つ力や物語を大切に繋ぎ合わせながら、社会の今とこれからを変えていく流れを生み出そうとするPIECESの在り方が大好きです。



米田直子  
まきば

一人一人が「できる」や「らしさ」を生かして社会を作ろう、というコンセプトにとっても共感しています。誰もが孤立せず優しい世界ができますように。



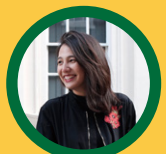
鈴木唯加  
まきば

子どもの回りに、優しい間がインフラのように溢れる。PIECESに寄付をしながら私もそんなことを願っています。



片山峻  
スタッフ

いつも応援くださりありがとうございます。皆様のお気持ちと想いを忘れずに、団体運営に善処して参ります。どうか末永くよろしくお願い致します。



小山恵  
まきば

市民として社会に関わろうとすると、思わぬところで心が揺れ動くときがある。そんなとき、「誰かに共有したい」と頭に思い浮かぶのは必ずPIECESです。



佐藤暁子  
監事

こういう時代だからこそ一人ひとりの思いや関わりを大切にしながら「市民性」が連なるコミュニティ、そして優しい間をPIECESと一緒に紡いでいって下さったら嬉しいです。



松井貴宏  
まきば

PIECESでの活動を通じて、自分自身のまなざしに変化していくのを実感してきました。これからも、PIECESの活動がどのように広まっていくのか楽しみです。



小野田峻  
PIECES理事

ご寄付者の皆さんお一人おひとりの想いの流れにPIECESが関わらせていただき、光栄に思っています。お寄せいただいた信頼への深い感謝と共に、次の5年を見据えます。



酒井美佳  
まきば

優しい「間」をフラットに諦めずに広めていく、その姿勢がすごく好きです！これからもよろしくお願いします！！



若林碧子  
スタッフ

みなさんからのご寄付で「一緒にいてくれる人たちがこんなにもいる」と励まされています。数多ある選択肢からPIECESを選んでいただけていること、本当に嬉しいです！

# Thank you! 5th Anniversary

PIECESに関わる役員・スタッフ・まきば(プロボノ)メンバーから5周年に向けたメッセージを集めました。

※組織の内部・外部という線引きなく、PIECESの目指す世界観に共鳴しているひとたち(プロボノ・インターン)のことを「まきば(牧場)」とよんでいます。



団体名  
住所

認定NPO 法人PIECES  
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-40-10 三翔ビル本郷7F  
小野田高砂法律事務所内 social hive HONGO

E-mail  
設立日  
ホームページ  
info@pieces.tokyo  
2016年 6月22日  
<https://www.pieces.tokyo/>

